



福井県の河川 2021

～これらの川づくりに向けて～

福井県の河川

雨が集まり自然に川の流れをなすものをすべて「河川」(川、「神通河川」ともいいます)とい、その河川の河口に集まってくると河川(河川)と呼ばれる。川(河川)を含めた範囲全体を「水系」といいます。その中で、方が「災害が発生した場合に、国土の保全および社会経済に与える影響が大きい」と考えられ、特に管理を行う必要がある水系については、その重要度に応じて「一級水系」「二級水系」と分類され、さらに、国土、県、市町村の管理区域をそれぞれ定め、分担・協力して維持管理を行います。

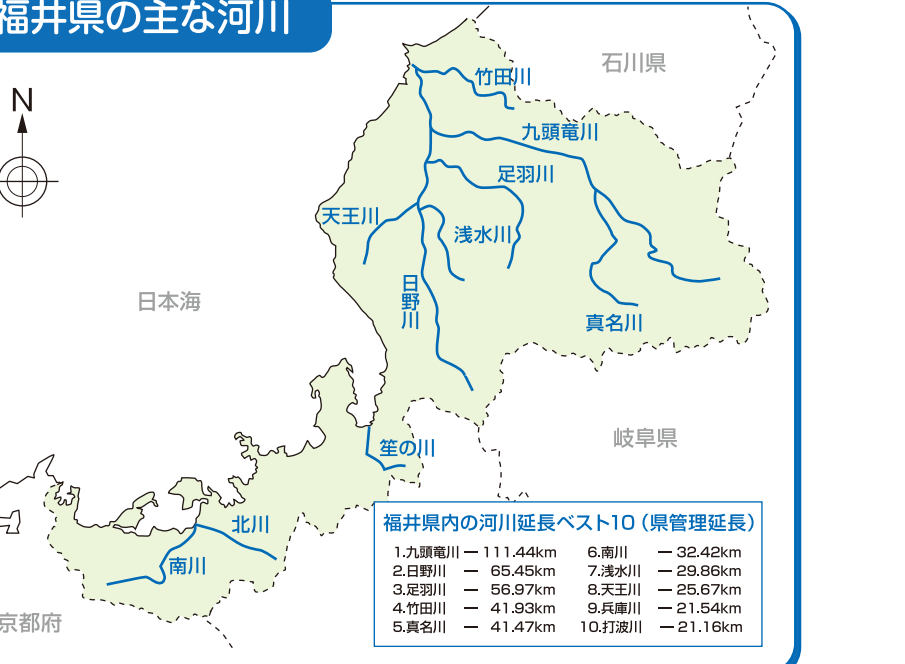
水害ごとに指定を行います

一級河川 私たちの生活に特に重大な影響を及ぼす河川として国土交通大臣が指定する河川 (国が管理)

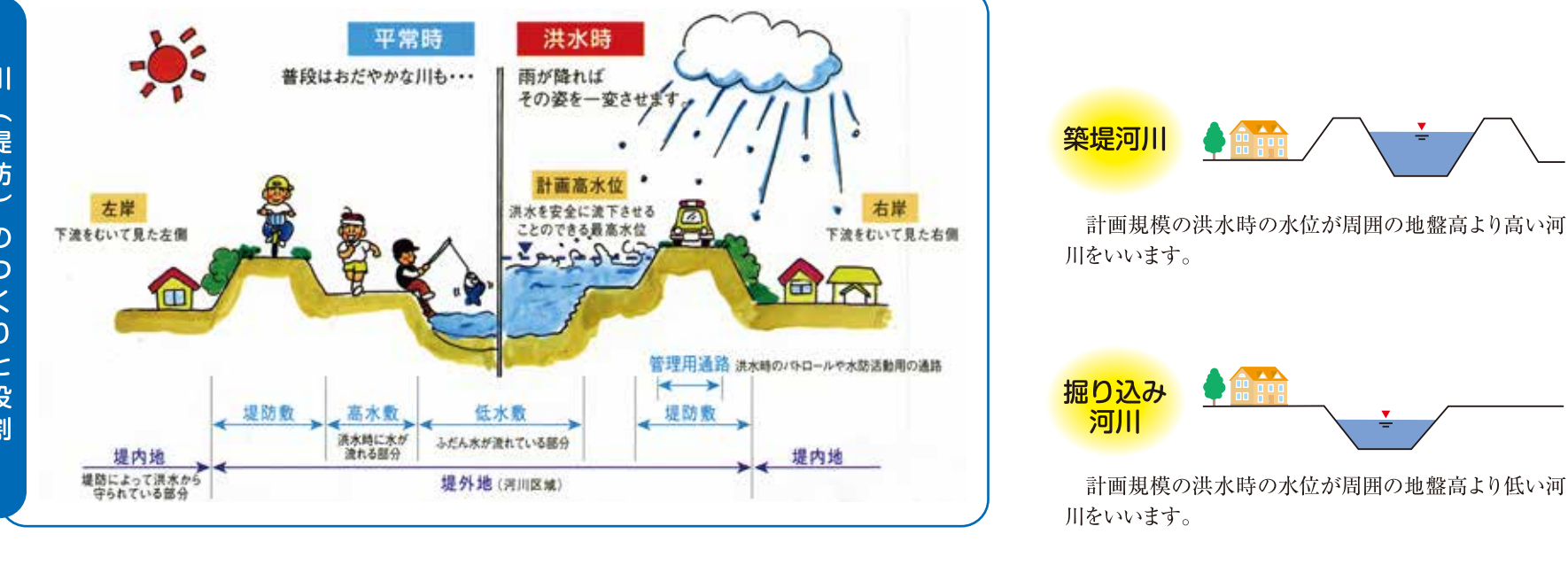
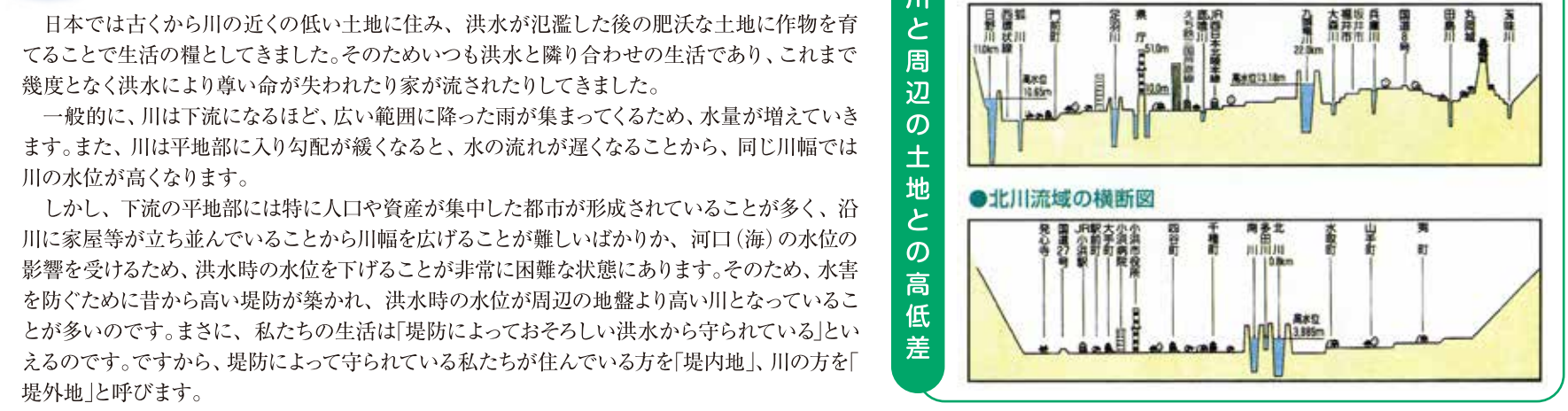
二級河川 一級河川以外で重要な河川として都道府県知事が指定する河川 (県が管理)

準用河川 上記のほかに重要な河川として市町村長が指定する河川 (市町村が管理)

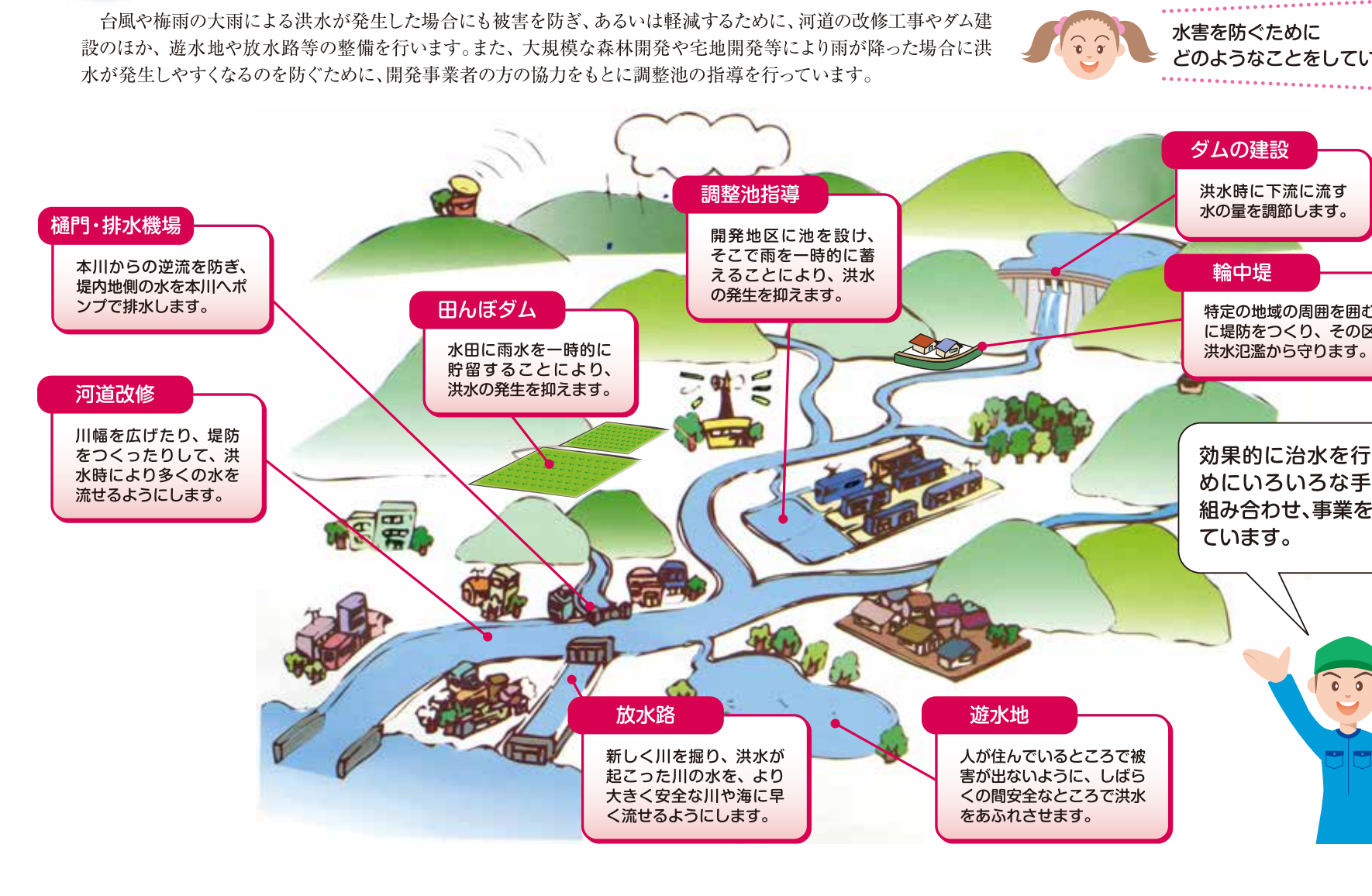
区分	水系	河川数	河川延長(km)	指定河川数	河川延長(km)	指定河川数
一級水系	九郎電川	150	1,029.1	102	697.6	102
	北川	30	71.0	16.5	54.5	16
二級水系	若狭川	169	1,100.1	112.8	982.3	112
	若狭川	41	252.8	-	252.8	-
準用河川	19水系	70	1,332.9	-	1,332.9	134.5



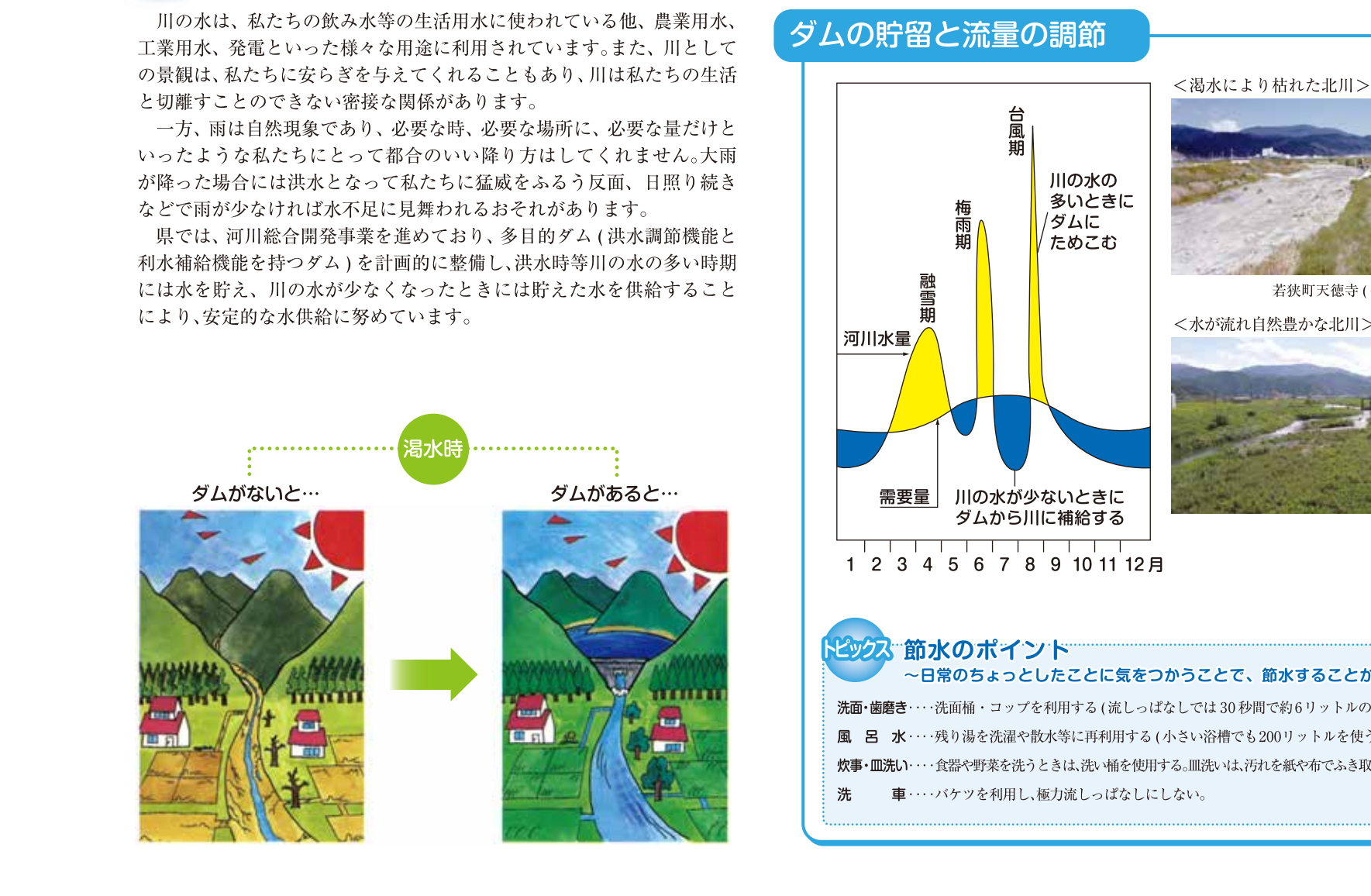
川のつくりと役割



安全で安心できる暮らしをささえる川づくり(治水)



豊かな水をはぐむ川づくり(利水)



福井県の目指す川づくり

- 1. 安全で安心できる暮らしをささえる川づくり
- 2. 豊かな水をはぐむ川づくり
- 3. 美しい自然あふれる川づくり
- 4. 地域の個性あふれる川づくり



水防活動

水防活動のようす

日頃の備え(危機管理)

水防活動は、洪水を防ぐこと、利水は、水を有効に利用することである。

- 日頃から、天気予報や注意報に注意を払い、危険な場所を避ける。
- 緊急時の行動を準備しておく。
- 避難場所や避難経路を確認しておく。
- 近所の方と話し合い、助け合いを行う。

洪水浸水想定区域図と水害リスク図



美しい自然あふれる川づくり(環境)

美しい自然あふれる川づくり(環境)

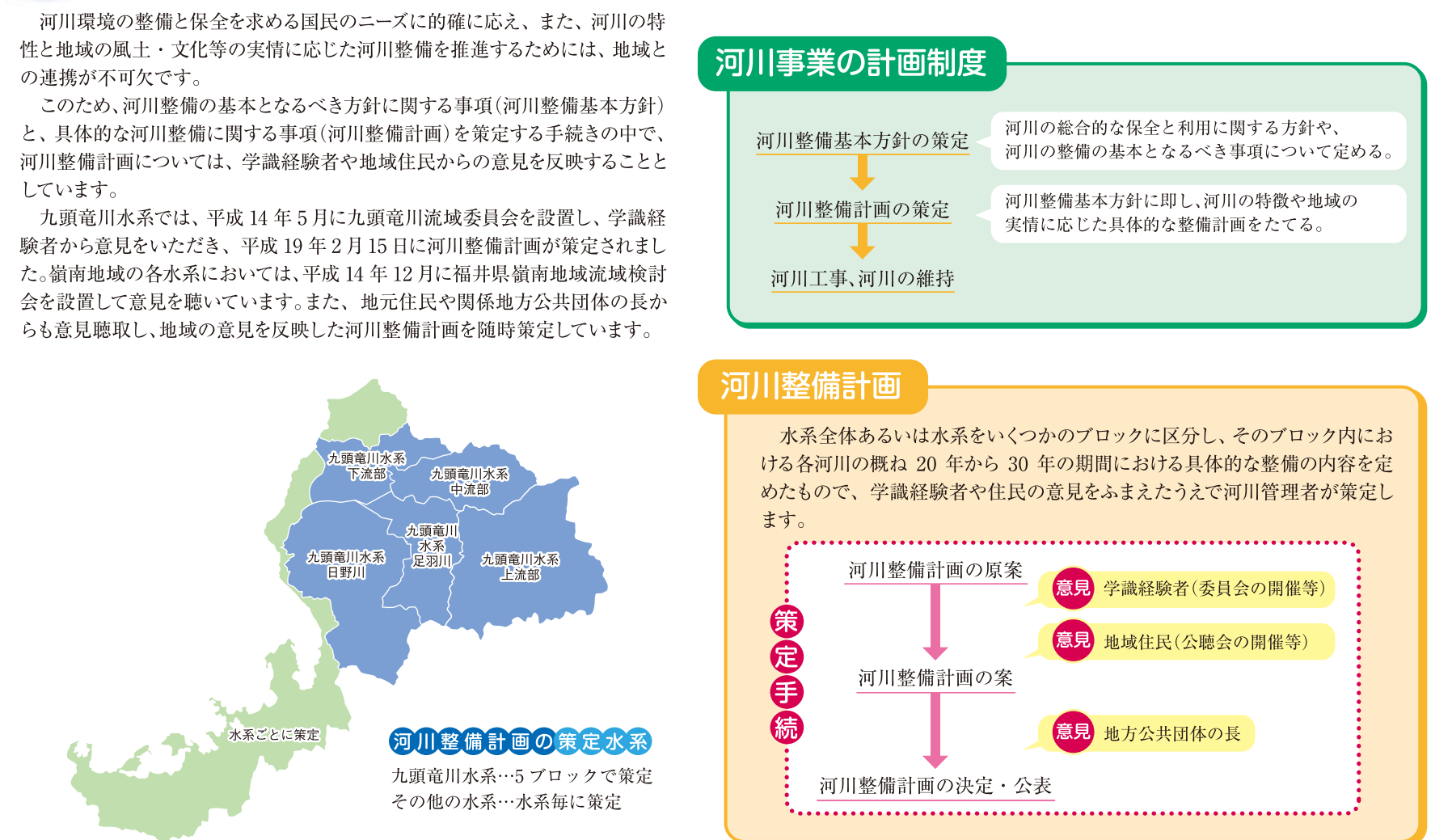
環境は、自然を保護し、美しい川づくりを実現することである。

- 環境保護: 自然を保護し、美しい川づくりを実現する。
- 水質浄化: 水質を浄化し、水を有効に利用させる。

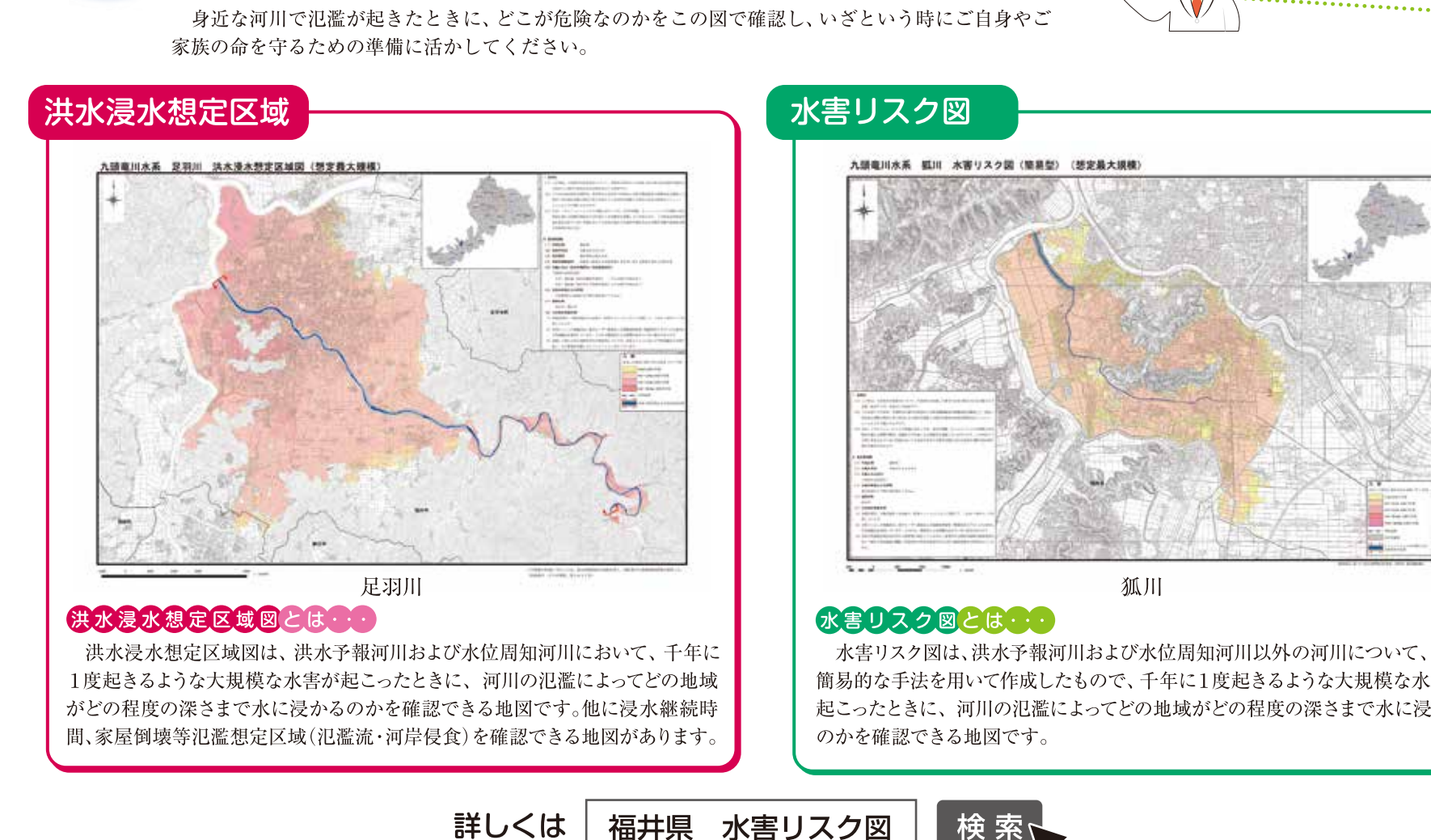
川と私たちの関わり



地域の意見を反映した川づくり(河川整備計画の策定)



水害リスク図



ふるさとの川をいつまでも美しく

ふるさとの川をいつまでも美しく

ふるさとの川をいつまでも美しく保つためには、地域の力を結集し、環境保護に取り組む必要がある。

- 環境保護: 自然を保護し、美しい川づくりを実現する。
- 水質浄化: 水質を浄化し、水を有効に利用させる。